

具合が悪い？と感じたら

観察する



✓食べる

いつも通りにごはんを食べたり、赤ちゃんはおっぱいやミルクを飲んでいますか。



✓寝る

夜や昼寝の時間に、いつもと同じように眠れていますか。苦しくて眠れないといった様子はないですか。



✓遊ぶ

いつもと同じように遊べていますか。機嫌がよく、活気はありますか。いつものおもちゃに興味を持てますか。



✓出す

うんちやおしっこの回数、量、様子はいつもと変わりないですか。おしっこが長時間出ないようなことはないですか。

※すべてにチェックが入れば、
おうちで様子をみてもいいでしょう。
心配だったり気になることがあれば
かかりつけへ！



救急か迷ったときは

相談窓口

小児救急電話相談 『#8000』

(お住まいの地域により利用できる時間帯などが異なります)
休日・夜間の急な子どもの病気の対処の仕方を相談できます。

救急相談センター 『#7119』

(東京都、奈良県、大阪府、福岡県、宮城県ほか市町村単位でも実施拡大中) 救急車を呼ぶべきかどうか、悩んだときに24時間365日子どもも大人も電話で相談できます。

病院に行く前に、
子どもの様子がいつもと違うと感じたら...
親や周囲の大人にできること

“いつも”を知る わが子のいつも・ 私のいつも・あなたのいつも

「熱の高さ=状態の悪さ」ではありません。
まず、見極めたいのは
「食べる・寝る・遊ぶ・出す」が
いつも通りにできているか。

適切な診断を受ける

伝達する

全身状態

食べる、寝る、遊ぶ、出す、の様子がいつもと比べてどうかを伝えましょう。

発熱、その他の症状

グラフやメモなどを見せながら、いつから、どのように変化しているかを伝えましょう。

うんちや皮膚の様子

いつから、どのように変化しているかを伝えましょう。
動画、写真などを見せながらだとわかりやすいです。

流行状況

保育園や幼稚園（学校や地域）の流行

状況も大切な情報です。わかっている場合は伝えましょう。

心配なこと

何が心配で病院へ来たのか、また薬や治療についての希望がある場合は、できるだけ正直に伝えましょう。

医師に症状を伝える

記録する

病院に行く前に、メモや写真、動画など、症状を記録したものが役立ちます。

グラフ・メモで記録

熱の高さは医師が見やすいよう、折れ線グラフに表しましょう。
鼻水やせき、嘔吐、便、発疹などのいつもと異なる症状や、あらかじめ質問したいことは、箇条書きでメモを。

写真・動画で記録

せきなどは動画で撮影すると、様子がわかりやすくなります。
発疹や便（オムツ）などは、写真に撮っておきましょう。
お薬手帳に記録することもGood!
熱型表のアプリやLINEスタンプも便利です。

LINEスタンプショップにて

Q 子どもと医療

で検索してね！



©「子どもと医療」プロジェクト

教えて！ドクター（佐久医師会）

<https://oshiete-dr.net/>

子どもの病気、災害、こころなど、子どもについての情報が網羅されています。



こどもの救急（日本小児科学会）

<http://kodomo-qq.jp/>

今すぐ病院を受診するべきかどうか、判断の目安がチャート式でわかります。



全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）

https://www.fdma.go.jp/relocation/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app/kyukyu_app_web/index.html

総務省消防庁によるアプリ。症状を画面上で選択すると、緊急性に応じた対応が表示されます。



ボジョレーに教わる救命ノート（大阪市消防局）

<https://119aed.jp/>

ケガや病気について、犬のボジョレー君がミニ動画で解説。子どもと学ぶのにも良いです。

